

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 103	提案機関名 神奈川県山林種苗協同組合
要望問題名 無花粉スギの挿木生産に優れた系統の選抜について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 現在の無花粉スギの苗木生産は、種子によるものが大多数で、種子から生産された無花粉スギは、前年に成長促進剤を散布して、花粉を強制的に付けさせ、その花粉を採取して花粉が出るかどうかの検定が必要であります。このため、無花粉スギ検定には多くの労力が必要とされます。実際の検定では、一人、1時間当たり、30～40本程度の検定数であり、1万本の検定には、2週間程度の期間に、300人程度の労力が必要となります。 また、無花粉スギの苗木生産には、挿し木による方法があります。挿し木をする場合には、挿し木に向けた個体選抜を必要としますが、無花粉スギ検定作業は必要なく、大幅な省力化が期待できます。 県では、「神奈川県花粉発生源対策10か年計画」を実行していくのに、花粉症対策苗木の生産の何割かを無花粉スギ苗で賄おうとすると、短期間に、花粉検定に集中した人員を必要とします。このため、挿し木苗木生産に向けた優良な採穂母樹となる無花粉スギ個体の選抜並びに増殖を、試験研究スケジュールを立てて、進めていただきたく要望します。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	研究連携課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) エリートツリーの研究開発		
対応の内容等	無花粉スギは、種子によるとさし木による生産方法があり、県内の苗木生産が種子による苗木生産が一般的であることを踏まえ種子による苗木生産を主体に実施してまいりました。ご指摘のとおり種子による生産は、無花粉スギの検定が必要になります。しかし、さし木による苗木生産は遺伝的に同質なクローンとなるため、優良な親個体の選抜と採穂するための採穂園が必要です。現在、森林吸収源対策として、優良な無花粉スギ個体の選抜を計画しており、幸いこれまでに無花粉スギを植栽した箇所でも優良な個体の選抜が見込まれることから、その選抜調査と合わせ供給体制の整備を進めてまいります。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			